

大人が絵本を 第9回 ブックスタ



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事フアウンダー

親子の絆は

『によきによき わんわん』、『によきによきによきによき』、「キャッキャッ」、「ぱたぱたぱたるるるる」、「キャッキャッ キャッキャッ」、「楽しいねえ」。

二重括弧は絵本『によきによき』の中の言葉、一重括弧は赤ちゃんの笑い声です。では最後の「楽しいねえ」は、誰が誰に対して発した気持ちだと思いますか。

答えは赤ちゃんのお父様が、お母様(妻)に言った言葉です。このとき、絵本を読んでいたのはお父様で、その声と言葉に反応したお子様が笑い声をあげたのですけれど、喜びを表わしている赤ちゃんの気持ちを代弁して、お子様に「楽しいね」と語りかけたのではなく、お子様が自分の言葉に反応したことによる自身の気持ちをお母様へ伝えたのです。

『によきによき』
多田ヒロシ 作
(こぐま社)



そこで司書の目を通して、子どもの歯科診療のできごとを客観的に見てみると、興味あることが分かってきました。それは、わが子が上手に歯科治療を受けている雄姿を初めて見たお父様の感動を「うちの子、結構頑張るんだなあ！強いんだなあ！」と、お母様にしみじみとお話されている姿です。それは、絵本の場合の赤ちゃんの笑顔と同じで、診療中の安

心している表情に対する敬意なのです。お父様の「楽しいね」のココロは、「強いんだなあ」と対比できるのです。何かに感動するだけでなく、相手に共感することが自分のココロを高め、相手へのホメ言葉となります。

親の先入観「赤ちゃんは何もわからない」

このやりとりの2週間ほど前に、お母様と6か月齢のお子様如初来館されたので、0歳児をお連れの新規会員すべての家族に行っている、赤ちゃんの感覚に届く絵本の読み方をアドバイスしたところでした。お母様からお父様にも絵本の読み方を伝えることで、会話のできない赤ちゃんとのコミュニケーションに戸惑っていたお父様の活路となったようでした。若い家族のコミュニケーションに大きな影響を与えた絵本の力を感じ取った瞬間でした。だから、司書は楽しい仕事なのです。赤ちゃんには「何もわからない」と考えるオトナの先入観が、絵本を手にするときの邪魔になっているのです。先入観に気付かれるその瞬間に、大きな価値を見出しています。まさしく「絵を読まずに、字を読むオトナ」なのです。

先のお母様は、読み方をアドバイスすると「ブックスタートでもらった『がたん ごとん がたん ごとん』を、文字を読みあげる感じで読んでいたからか、子



『がたん ごとん がたん ごとん』
安西水丸 作
(福音館書店)



手にするときは！

一トとお口の健康相談

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

どもは無表情だったけど、絵本がこんなに楽しいものとは思いませんでした」と語られ、楽しい読み方を体験されるとお母様ご自身も嬉しくなったご様子でした。

読書相談にみるブックスタート

当館会員だけを見ると、自治体の乳幼児4か月健診でブックスタート・パックを受け取っている家族はほぼ100%といえますが、その絵本が赤ちゃん絵本であることや、コミュニケーションツールとしての絵本の読み方をご存じないお母様が多いようです。「赤ちゃんにはまだ早いだろうから」や「内容の意味がよく分からないから」と袋に入れっぱなしの報告が多くあります。それが、赤ちゃん絵本の代表格である『ごぶごぶ ごぼごぼ』や『もこもこもこ』なので、司書としては悩んでしまいます。赤ちゃん絵本の読書相談があると必ず、これらを差し出し、読み方と赤ちゃんの受け止め方をわかりやすくお話するものですから、そこで初めて「ブックスタート」絵本の話となります。お父様もお母様も、絵本をもらった意味を正しく理解されて、やっと絵本が目の目を見られているようです。初めて来館される乳幼児をお連れのお母様とお話するたびに、ブックス

スタートの支援方法が大きな気になりとなっているのです。

ブックスタートのはじまりと、その後

1992年、イギリスで始められたブックスタートの目的は、読書推進運動と急速に多民族国家となったことによる識字率の低下を救うことや、メディア・リテラシーの導入にありましたが¹⁾、現在では「share books with your baby」すなわち、「赤ちゃんに、絵本をひらく楽しいひとときをわかちあってください」という主旨に移行されました²⁾。



『もこもこもこ』
谷川俊太郎 作
元永定正 絵
(文研出版)

日本でも親子のコミュニケーションの助けになることを目的として、2001年に導入され³⁾、15年目となった現在では全国1741の市町村のうち901自治体が導入し⁴⁾、その名は一般的に知られるようになりました。少子化や核家族化など、地域社会や家庭生活が変容したことによって子育て不安が増加し、地域ぐるみで子どもの成長を見守るという育児支援の一端を担うために、絵本が導入されているのです。親子が絵本を介してコミュニケーションをとることで、より健全な親子関係作りを期待したものです。しかしながら、現実に親子のコミュニケーションの助けとして生かし切れず、地域に格差が見受けられ



の生みの親
駒形克己の絵本
『ごぶごぶ ごぼごぼ』
駒形克己 作
(福音館書店)



ています。ブックスタートが急速に広がっていく流れに乗ったものの、明確なビジョンを持たないままに事業だけを取り入れた自治体が今、問題を抱えているように思われます。本来、各自治体で地域の育児環境が抱える問題は異なるもので、まずは地域の現状を把握して、ブックスタート事業を通じた育児支援の目的、地域に合った方法、方向性を明確にする必要があるのですが、これが不透明な自治体もあるようです。

ブックスタートの制度を通して子どもの歯科治療をみても、例えば、フッ素塗布の導入や歯みがき指導、そして食事指導を考える際、日本全国一律に同じことはできません。その地域、あるいは個人の生活環境により、お口の健康習慣が異なり、指導の方法、方向性を明確に、しかも分かりやすく地域や個人に合うようなシステムを作られているとのこと。司書が小児歯科スタッフと協働することにより、絵本、特にブックスタートの取り入れ方について、民間の司書としての役割と行動基準が明確になっていきます。



ブックスタート事業の格差



ブックスタートとは「地域に生まれたすべての赤ちゃんを保護者を対象に、赤ちゃんに絵本をひらく時間の楽しさを実際に体験してもらいながら、絵本が入った“ブックスタート・パック”を手渡す活動⁵⁾とされています。しかし、当館会員のお母様はブックスタートの説明や体験どころか、健診会場で何の絵本をもらったのか、帰宅後、開封するまで知らされていないようなのです。もらった絵本の楽しさを計り知り得なかったため、親子で読みあうところまで行きつくことができないでいた親子がたくさんいるのです。

「絵本の読み方が分からない」「赤ちゃんに絵本が分かるんですか」というのが読書相談で乳幼児連れ

のお母様から日常的に受ける質問で、その都度、親子一組一組や、ときにはお父様を含めた家族単位への読書支援が、当館司書活動の目玉ともなっています。この支援を行うことは、お子様の成長に合わせた次の読書相談へとつながり、継続的な支援を実現できています。まさしく、絵本と図鑑の親子ライブラリーは、診療室での「歯のみがき方が分からない」「フッ素の効果はあるのですか」といった会話と同じ状況にあることをご理解いただけたと思います。

しかし、ブックスタート事業が始まって15年目になる現在、赤ちゃんをおもちのお母様がなぜ、皆が皆、絵本の読み方やブックスタート事業の意味をご存じないのでしょうか。NPO ブックスタートが示したハンドブックには、手渡し方の事例として、

- ①「ブックスタート」事業について紹介をする。
- ②赤ちゃんに絵本を開く時間の楽しさを、実際に目の前で開き、語りかけながら体験とともに伝える。
- ③ブックスタート・パック内容の説明を行う。
- ④「地域みんなで子育てを応援していること」など地域からのメッセージを伝える。

と、順を追って説明しています⁶⁾。具体例も記されて、実践につなげやすいマニュアルとなっています。

ところが、当館会員のお母様方は、これらのことを質問されてくるのです。果たして、ブックスタート・パックを受け取ったときに説明を受けた親子がどのくらいいるのか、当館会員30名に簡単な口頭質問調査をしましたが、説明を受けたと回答したお母様は0名でした。さらに、パックの中に何の絵本が入っているかを健診会場で知らされた方も0名でした。このことは、わが街・福岡の未整備の実態に他ならず、この実情を知ったからには、わが街に生まれた親子の健やかな成長への支援方法を行政に向けて発信していく使命を与えられたと受け止めています。

他の自治体の活動をみてみましょう。北海道恵庭市では、9～10か月健診において、健診待ちの赤ちゃ

んに読書ボランティアが絵本を読んでその楽しさを実感してもらい、保健師が問診でこころと体の成長の視点より「赤ちゃん絵本をひらく時間の意味」について保護者に話をします。そして最後に、図書館員が親子と一対一でブックスタート・バックを説明しながら手渡すのです⁷⁾。それぞれの専門的な立場から、地域に誕生した親子へブックスタートのメッセージを伝えている様子が伺えます。「健診のおみやげ」を渡すのではなく、親子一組一組に、実践につながる分かりやすい説明をしながら絵本(バック)を手渡していくことが何より大事なことで、コミュニティの子育て支援という取り組みが成立していることが分かります。



絵本での育児は、他人まかせではダメ!

当館での実践例を紹介します。乳児連れの新規会員の保護者に対し、絵本が赤ちゃんに与える影響や、コミュニケーションツールとしての絵本の活用法、そして赤ちゃんが楽しいと感じる読み方をお話しして、親子と読みあいをする中で、お母様は積極的に疑問を投げかけてこられます。そして、お母様自ら実践されると、お子様はもちろんですがお母様の表情も格段に変わります。絵本を育児に活用したいけれど、どうしたらよいのかも、誰に聞いたらよいのかも分からなかったお母様の心が晴れやかになる瞬間をたくさん拝見させてもらっています。そうして皆様、口裏を合わせたかのように「絵本って奥が深いんですね」と意識の変容を直球で述べられます。絵本に自らの楽しみを見出されたお母様は、絵本への興味関心が喚起され持続する傾向も見られています。

当館での実践から推し量るところ、ブックスタートの説明を受けているか否かによって、保護者の絵本に対する意識も異なりますし、絵本のある日常を送るかどうかの生活形態にも影響を与え、ひいてはお子様の言葉体験や想像体験の頻度も変わることに

なると考えます。そして、テレビ・DVDへの接触時間にも影響を与えていることは明確な事実です⁸⁾。絵本の隠された力を活かす助言を添えるだけで親子が喜びを得て、お母様の育児満足、お父様の育児参加にもつながって、親子の温かい人間関係の支えになると思います。

このようにココロの健康とお口の健康を維持することを、小児歯科医療から発信できるのです。司書である私がブックスタートのお話をする中で、小児歯科における定期的健診の有効性を知ることができました。(次号につづく)



最後まで読んでくれて
ありがとう。

文献

- 1) NPO ブックスタート：赤ちゃん絵本をひらいたらーブックスタートはじまりの10年、岩波書店、東京、2010、pp.32-53
- 2) NPO ブックスタート：「ブックスタートがもたらすもの」に関する研究レポート：NPO ブックスタート、東京、2014、pp.2-4
- 3) NPO ブックスタート：ブックスタート・ハンドブック第6版：NPO ブックスタート、東京、2012、pp.68-69
- 4) NPO ブックスタート：ブックスタートとは、NPO ブックスタート HP <http://www.bookstart.or.jp>
- 5) NPO ブックスタート：赤ちゃん絵本をひらいたら、岩波書店、東京、2010、pp.v-viii
- 6) NPO ブックスタート：ブックスタート・ハンドブック第6版：NPO ブックスタート、東京、2012、pp.44-57
- 7) NPO ブックスタート：赤ちゃん絵本をひらいたら、岩波書店、東京、2010、pp.96-117
- 8) 原崎聖子、他：ブックスタート追跡調査からみる親子関係の特徴と学童期への影響について、福岡女学院大学紀要；人間関係学部編、13：29-34、2012

絵本

- 1) 多田ヒロシ：によきによき、こぐま社、東京、2004
- 2) 安西水丸：がたん ごとん がたん ごとん、福音館書店、東京、1987
- 3) 駒形克己：ごぶごぶ ごぼごぼ、福音館書店、東京、1997
- 4) 谷川俊太郎 作、元永定正 絵：もこもこもこ、文研出版、東京、1977